

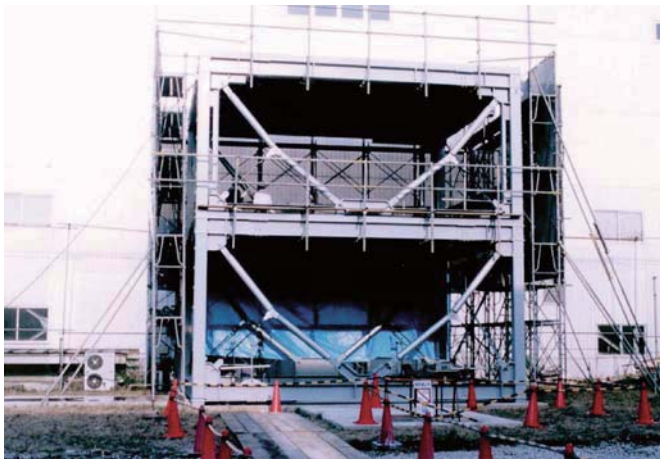
JSCA 千葉ニュース(冬)

発行(社)日本建築構造技術者協会 JSCA千葉(広報委員会)
〒262-0031千葉県千葉市中央区長州1-14-1 飯島建築構造事務所内 TEL 043(221)5131 FAX 043(991)5199

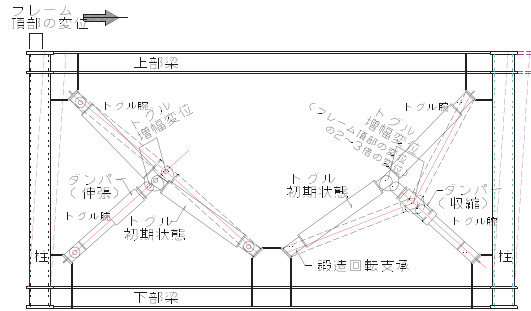
特集 「トグル制震工法」実大振動実験 見学会の報告

飛鳥建設(株)技術研究所

平成11年11月19日(金) JSCA千葉, JSCA埼玉共催として、飛鳥建設(株)技術研究所の御協力により同研究所にて実験・開発を行ったトグル制震フレームの実大振動実験及び研究所内の見学をトグル制震発案者である飛鳥建設研究所の久保田氏の解説により行われた。



トグル制震は、図のように、この原理を利用したブレース型のパッシブ制震装置を柱・梁骨組み内に設置することにより地震エネルギーを吸収し建物の耐震性を高める工法で、新築建物から耐震改修ま



トグルの変形
主梁橋が右方向へ動くときトグル機構は、左に配置された腕の角度は小さくなる方向に変形し、右側に配置された腕の角度は大きくなる方向に変形し、ダンパー部分が大きく動きます。

で幅広く適用が可能な工法である。

今回の見学会は、この装置を鉄骨造2階建てフレーム内に納めフレーム外から振動を与え、その効果を確認するもので、装置を入れた状態と抜いた状態で建物の振動の明らかに違いその効果を十分に発揮している様が目視においても確認でき制震装置の有効性が大変分かり易い見学会となりました。



木構造の振動実験

また、見学会終了後 JSCA 埼玉の皆さんとの懇親会を通じ、交流を深める事ができ、大変有意義な時間となりました。

(佐藤)

平成11年度 JSCA 千葉世話人会議事録抜粋

世話人会	(18:00~20:00)	1) 新年会の開催について	講演会 16:00~講師・菅野忠氏、懇親会 17:30~
代表	飯島 宏治	出席、飯島代表他5名	2) その他・コンクリート診断士制度について、千葉県中間検査実施要項について、木造住宅の品質保証について
総務委員会	向後 勝弘 椛山 誠治	1) 「トグル制震工法」公開実験見学会について(担当 真崎氏)	
会員委員会	青木 光年 細川 正三	2) JSCAホームページの都道府県情報の管理について 千葉県版耐震情報を向後氏が担当する	
研修委員会	真崎 雄一 舛田 卓也		
広報委員会	齊藤美佐男		
耐震委員会	市原 嗣久		
第6回	11月16日	第7回 12月22日 (18:00~20:00)	出席、飯島代表他5名
		出席、飯島代表他5名	1) 新年会の開催について
			2) 2000年1月14日
			(18:00~20:00)

面)

耐震工学研究会に参加して

昨年の秋、福岡大学工学部高山研究室を事務局として耐震工学研究会が発足しました。平成12年2月現在、4回目の研究会が行われようとしています。3回の参加を通じて感銘の連続でしたので本紙面が余ったこともあり(どなたか、原稿を下さい!)、ご紹介させていただきます。

この研究会の特徴は毎回、複数の特別会員による講演があり、その内容についてサロンのような議論・質疑があることでしょうか。特に多田英之先生(日本免震研究センター)の大音声による、歯に絹着せぬ議論の展開は若々しく、構造設計の実務者に指標と覚醒を与えてくれます。

各特別会員の講演の内容は、当然ながら先端的です。第2回研究会のテーマは「性能設計」でしたが、辻英一先生(安井建築設計事務所)は、JSCA性能設計委員会の主査であるのに、「性能設計はわからない事だらけである」と言っていました。構造設計の、巨匠にしてのこの言葉は、我々の判断基準を初心に戻さずにおかないでしょうか。ただし、「免震構造だけが非常にクリアに解っている」と言うことですので、今後の構造設計課題は免震構造の普及が最優先だと示唆されているのでしょうか。

さて、一般に講演内容の概要が配布されないことも多いと思われませんが、この研究会では後にホームページを通じて入手できる(無料)システムになっていますので、メモを採る必要がないことは、特筆すべき大きな特徴の一つです。

なお、第4回目の研究会は2月23日で、JSCA千葉の行事と重なりましたが、これまでの講演内容を入手したい方はどうぞアクセスしてみてください。(http://www.eenix.gr.jp) <安田>

本誌は季刊とし年4回の発行を目標としてJSCA千葉の活動状況を報告してゆく予定です。皆様の声を反映させるべく、ご意見ご要望をお待ちしています。(広報委員会)

JSCAホームページをのぞいて

JSCAがホームページを開設していることは皆さんご存じのことと思いますが、趣味のページにはよくアクセスするもののJSCAのホームページをのぞいたことがある人は少ないのではないのでしょうか。開設の主旨に「構造技術者の役割を伝え、日本構造技術者協会と建築構造士を広く知っていただくことを目的に・・・」とあるように対外的なメニューが中心となっていますが、その中に会員専用のコーナーが設けられており、委員会・部会・支部の情報が掲載されています。内容は主に委員会・部会の議事録が中心ですが、今本部ではどんな委員会でどんなことが話し合われそして何が行われようとしているのか身近に感じることができ。中でも「耐震診断・補強委員会」では技術情報や都道府県情報(各地の耐震判定委員会やその他情報)が提供されており、初めての地域で耐震診断の仕事をするときに役立ちそうです。ただし、会員専用ページへのアクセスには会員登録とパスワードの登録が必要ですが、ホームページの「会員登録について」で詳しく紹介されています。まずは <http://www.jsca.or.jp> へ! <向後>

JSCA千葉技術委員会議事録抜粋(定例月1回)

耐震部会 委員長 市原 嗣久	第21回 11月19日 (14:00~17:00) 出席、JSCA千葉、JSCA埼玉 1) トグル制震見学会 飛鳥建設技術研究所、JSCA千葉、JSCA埼玉合同見学会及び懇親会を行い多数の参加を得られた。	第22回 12月21日 (15:00~18:00) 出席、市原委員長他11名 1) 平成11年度の活動総括と今後の活動方針(次年度は振動に力点をおく)	第23回 1月28日 (16:00~18:00) 出席、市原委員長他5名 1) 木造住宅等耐震診断の対応を考える。鈴木氏を中心に情報を収集する。 2) 各委員は構造分野ごとに役割を分担する。
-------------------	--	--	---